

4. 御社ご注文の品は、弊社が発送後、数日で御社に届きます。
- a. Once we ship your order, it should get to you in a few days.
  - b. Once we ship your order, it should have arrived at you in a few days.
5. 4時間後、町に着いているはずの時間だったが、我々はまだ、たらたらと山を登っていた。
- a. Four hours later, when we should have reached a town by then, we were still walking slowly uphill.
  - b. Four hours later, when we should be reaching a town by then, we were still walking slowly uphill.

## 第4章

# will と would

中学生の時、法助動詞 will は「意志未来」と「単純未来」という2つの区分で教わった読者の方が圧倒的に多いと思います。

「意志未来」とは「～するぞ・～しよう」という意味ですね。一方「単純未来」とは「～であるだろう・～になるだろう・～するだろう」という「推量」の意味です。どちらにも「...未来」ということばが付いていますが、will は必ずしも未来ばかりを表すわけではありません。しかも、「意志」ということばを使うと、その「意志」は、文の主語の意志なのか、発言している話し手の意志なのか、話がいろいろと複雑になって、かえってわかりにくくなってしまふ恐れもあります。ですから、できるだけこれらの用語は素通りして、will のいろいろな用法をここから詳しく見ていくことにしたいと思います。

## 4-1 I willは何を表すか

### 1 will と am [is / are] going to の意味は同じか

昔を思い出してください。中学で **will** を教わったときに、付け足しのように「**will** は **am [are / is] going to** と置き換えられる」と習いませんでしたか。例えば、

1. **Scarlet will be a great teacher.**

**Scarlet is going to be a great teacher.**

「スカーレットは将来すごくいい先生になるでしょう」

2. **I think the weather will be beautiful tomorrow.**

**I think the weather is going to be beautiful tomorrow.**

「明日は天気は快晴だと思うよ」

3. **Peter'll meet us in the bar at 7 p.m. sharp.**

**Peter's going to meet us in the bar at 7 p.m. sharp.**

「ピーターは午後7時きっかりに、私たちとあのバーで合流します」

これらは、どちらを使ってもほとんど意味の違いはありませんから、置き換えられると言ってもいいと思います。ただし、**will** と **be going to** とが置き換えられる文では、**will** の方が公式の書きことばで多用され、**be going to** はふつうの話すことばで多用される傾向があります。大学の掲示板などには以下のような文がよく見られます。

- The workshop **will** begin at 9 a.m. Coffee and donuts **will** be available from 8:30 onwards.

「研修会は9時開始です。カーフィとドーナッツは8時半以降、用意してあります」

これは書きことば（掲示板）ですから **will** が使われています。

**will** と **be going to** が交換可能な場合を今見てきましたが、しかし実際には、**will** と **be going to** とでは、だいぶ意味に違いがあって、交換することが不可能な方が多いのです。

**will** と **be going to** は、どこがどう違うのでしょうか。まず問題をやって考えていきましょう。

**【問題1】** 次のそれぞれの日本語の意味を適切に表す英語を、4つの英文のうちから選びなさい。ただし必ずしも1つとは限りません。

1. 「ぼくは来年の夏アメリカに留学することになっています」

- I will study in the United States next summer.**
- I'm studying in the United States next summer.**
- I'm going to study in the United States next summer.**
- I study in the United States next summer.**

2. 「わかりました。それでしたら明日、またお電話を差し上げます」

- OK, I'll call you back tomorrow then.**
- OK, I'm calling you back tomorrow then.**
- OK, I'm going to call you back tomorrow then.**
- OK, I call you back tomorrow then.**

1の「留学することになっている」という言い方からわかるのは、米国留学が既定路線である、つまり、「すでに確定している個人の未来のスケジュール」になっているということですね。その場合には、いちばんいいのが **b. 'm studying**、すなわち**現在進行形**で表すことです。現在進行形が表す意味はは大きく分けて2つあります。

- ① 今、この瞬間に生じている最中のことがらを表す  
 ② すでに確定している個人の未来のスケジュールを表す

①になるのか、②になるのかは、一緒に使われている語句(ここでは next summer) や文脈によります。

c. be going to も使えます。be going to は未来の行為についての「心づもり」を表します。

逆に他の2つは使えません。a. I will は「その場の決断」を表す表現です。「よし、それなら～するぞ」という意味です。前々から決めていたことには使えません。

ただし、If 節がある場合には、予測の意味の will になり、この文は正しくなります。

(◎) *If my parents approve / If I save enough money, I will study in the United States next summer.*

「もし両親が賛成してくれるなら / もし十分な資金が貯まったら、ぼくは来年の夏アメリカに留学するでしょう」

d. 「現在形」に○を付けてしまう人は意外に多いですが(「留学します」という日本語に引きずられるせいでしょうか)、現在形が未来のことを表すのは「公共のスケジュール」の場合だけです。例えば4月25日にポール・マッカートニーが武道館で公演します、とか。

したがって、正解は b. と c. でした。

2では、「お電話差し上げる」と決めたのは今この場ですね。それは「わかりました。それでしたら、…」あたりの表現から察知できます。電話口で今、明日かけ直すことを決めた——そういう場合には、a. I'll call の出番です。「その場の決断」です。逆に前々からの「予定」の I'm calling や、前々からそうしようと思っていたという「心づもり」の I'm going to call は使えません。d. 現在形はもちろん使えません。したがって正解は a. です。

be going to には、現在進行形とまったく重ならない用法が1つあります。それは「現在の状況から考え合わせると、出現する未来がほぼ間違いなくわかっている」ことを表すときです。「絶対～する・間違いなく～になる」という日本語が対応します。

例えば、ある国が核兵器を搭載したミサイルを日本のある原子力発電所めがけて打ち込んだとします。Jアラートが緊急警報を発し、あと3分でミサイルは着弾すると言っています。あなたの家はその原発からそんなに離れていません。大量の放射線が降り注ぎ、あなたの家族やその地域の人は皆死ぬことになるでしょう。もう逃げるにも逃げられません。そのとき、もしあなたが英語で言うとしたら、言うことばはこれしかありません。

We are all going to die. 「我々は皆死ぬんだ」

(×) We are dying. はまったく不適切です。原発の爆発で死ぬことが、個人の予定、つまり手配して取り決めていたことであるはずはないからです。

## 2 「～するぞ」の気持ちを表す will

I will は、「よし、私はやりますよ」という気持ち (willingness) を表すのが基本の用法です。何かを「するぞ」という気持ちは、細分すると「申し出・提案」「承諾・合意・約束」「要請・命令」などに分けることができます。細かく一つずつ見ていきましょう。

- ① 申し出・提案を表す I will :

It's not very safe in this neighborhood at night. I'll drive you to the station.

「この辺りは、夜はあんまり安全じゃないから、よし、私が駅まで車で送っていくよ」